

# いち・にの・さんしん

原三信病院 広報誌

July 2010 No. 32



日本医療機能評価機構  
認定病院

病人のための病院

病院理念



作品:「山口:角島大橋」写真部 木村 政利

## 病院基本方針

- 一、質の高い医療の追求
- 一、居心地の良い環境の提供
- 一、心のもったサービスの実践

## 目次

- 病院にゆ〜す「新しいドクターの紹介」…………… 2
- 医学雑学講座「神経泌尿器科外来」…………… 3
- THEプロフェッショナル「外来化学療法室」…………… 4
- 検査紹介コーナー「MRI検査」…………… 5
- 香椎原病院だより・食のヒミツ…………… 6
- わが町のホームドクター…………… 7
- 病院及び関連施設のご案内…………… 8





# 病 院 に ゆ へ す

最近の  
原三信病院の  
動き

## 新しいドクターの紹介

平成22年度4月より、原三信病院に新たに14名の医師が赴任しましたのでご紹介します。  
院内で見かけた際は、どうぞお気軽に声をおかけ下さい。



総合診療科

みつもと ふじこ

光本 富士子

平成19年九州大学卒



総合診療科

そのだ かずたか

園田 和隆

平成20年九州大学卒



循環器科

おおが やすひろ

大賀 泰寛

平成20年長崎大学卒



消化器科

ちやえん ともひと

茶園 智人

平成15年九州大学卒



呼吸器科

ふくもと じゅうたろう

福元 重太郎

平成13年九州大学卒



外 科

なりとみ げん

成富 元

昭和56年鹿児島大学卒



外 科

のぐち ひろし

野口 浩司

平成17年九州大学卒



外 科

あべ としや

阿部 俊也

平成20年山口大学卒



整形外科

かわむら よしか

河村 好香

平成17年大分大学卒



泌尿器科

きだ かずたか

木田 和貴

平成13年宮崎医科大学卒



泌尿器科

みやざき ひろなり

宮崎 啓成

平成20年川崎医科大学卒



放射線科

とどろき まり

轟木 茉莉

平成18年九州大学卒



研修医(一年次)

のぐち ゆうき

野口 裕貴

平成22年福岡大学卒



研修医(一年次)

はたしま あずさ

畑島 梓

平成22年福岡大学卒



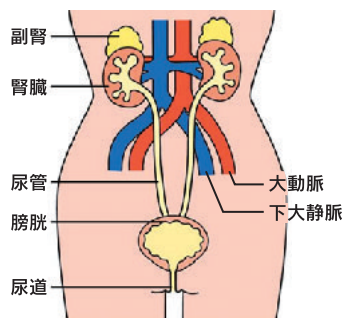
# 医学雑学講座

## 神経泌尿器科外来

**神** 経泌尿器科外来(2007年4月開設)とは、膀胱や前立腺には特に問題がないにも関わらず、頻尿、尿失禁や排尿困難など下部尿路症状を起こす神経因性膀胱を診察する外来です。

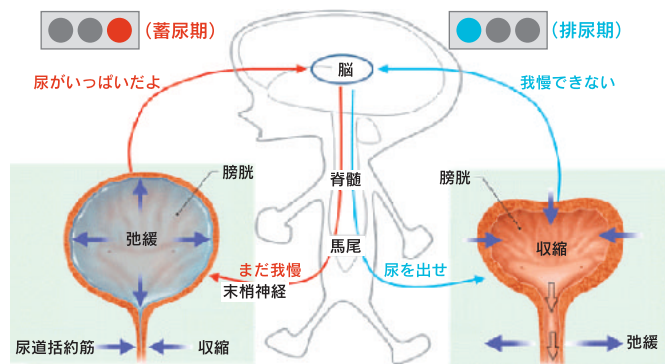
### 神経因性膀胱

尿(老廃物)は、腎臓にて血液が濾過されて作られます。作られた尿は腎臓から尿管を経て膀胱へたまりま(図1)。尿が膀胱にたまるにつれ、膀胱が徐々に大きく弛緩します。その時、膀胱の出口(尿道へつなが



■ 図1

る)は巾着袋の口のように閉じています。ある一定量の尿がたまると膀胱から脳へ「膀胱内の尿がいっぱいです」という感覚刺激が伝わります(図2左)。これが尿意です。そして、トイレに行く準備ができると、脳から「膀胱の出口を開き膀胱を収縮させて、尿を全て排泄して下さい」という指示が神経を通じて膀胱へ伝わり排尿します(図2右)。こうした膀胱と脳のやりとりは、神経のネットワークにより制御されています。このネットワークに障害が起り、下部尿路症状が出現することを神経因性膀胱と言います。



■ 図2

例えば、膀胱に少し尿がたまるだけで尿がいっぱいと感じると頻回にトイレに行くことになります。また、膀胱の出口が閉まっていなくて膀胱に尿が溜められず尿漏れ(尿失禁)を起こし、膀胱から全ての尿が出なくなると残尿となります。

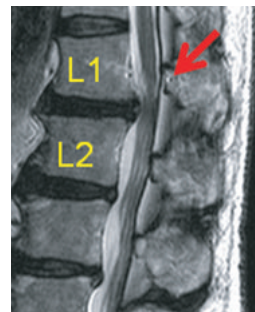
### 神経因性膀胱の原因

神経ネットワーク障害の原因は、大脳や脊髄・馬尾(ばび)障害から末梢神経障害、さらに心因性、薬剤性に至るまで

様々です。私たちの検討では大脳由来25%、脊髄由来25%、馬尾障害25%、それ以外25%という比率でした。大脳由来の原因は、脳梗塞や脳出血など脳血管障害によるものが多く、脊髄由来は頸椎症や脊髄炎後遺症などがあります。馬尾由来は腰部脊柱管狭窄や腰椎ヘルニアなど腰部脊椎変性疾患が圧倒的に多いです。末梢神経由来では糖尿病性神経障害が多く、この場合、膀胱の感覚がないため1,000mlの尿がたまって尿意がないこともあります。

### 神経泌尿器科外来では何をするのか

頻尿、尿失禁、残尿などの下部尿路症状がある場合、まず泌尿器科にて膀胱や前立腺の異常がないかを診察します。そして、神経因性膀胱の疑いがあると神経泌尿器科外来の出番になります。神経因性膀胱が疑われた場合、まずは詳しい現病歴、既往歴や薬歴聴取を行い、神経学的な診察を行います。さらに尿流動態検査などの膀胱機能検査だけでなく、頭部・脊髄MRI画像検査、誘発筋電図検査などを参考にしながら、その原因を考えます。足のしびれ、歩行障害、ふらつき、しゃべりにくいなど神経症状を伴っている場合は、下部尿路症状の原因が神経かもしれないと考え易く、受診となりますが、自覚症状・神経症状がない場合はなかなか受診には至りません。しかし、こうした一見自覚症状も神経症状もない症例の中に、慎重な問診と診察により病気の原因が推測できる場合があります。原因が判明し、適切な治療をすることにより症状が改善した症例もあります(図3)。



■ 図3

62歳男性、尿失禁にて受診。しびれや歩行障害はないが、馬尾(円錐)の障害と考え腰部MRI施行。その結果、腰椎ヘルニアと診断、手術にて症状軽快。

### まとめ

神経因性膀胱は脳や脊髄のみならず、薬の影響も考慮しなければならぬ広い分野におよぶ疾患群であり、その原因を明らかにし、場合により治療をサポートする専門外来が神経泌尿器科外来です。

脳神経内科 部長 藤木富士夫

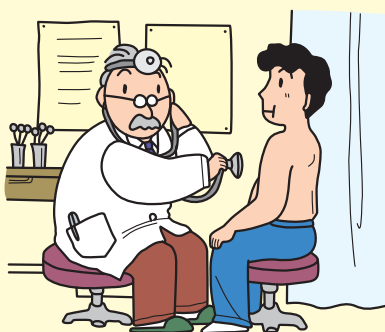




# THE プロフェッショナル

## 生活の質を向上させるための外来化学療法室という視点

**が**んは、わが国では死因の第1位であり、嫌が上にも国民の関心が高い。がんの治療は手術や放射線治療の他に、薬物療法である化学療法などを組み合わせて行われるが、分子標的薬などの新しい薬剤の登場もあって、化学療法の重要性が増している。2007年に策定されたがん対策推進基本計画では、重点的に取り組むべき課題として、治療初期段階からの緩和ケアやがん登録の推進とともに、化学療法の整備をあげている。化学療法に精通した医師や看護師および薬剤師が専門性を発揮できる環境整備が求められ、こうした良質な治療環境が、がん



ん患者が受ける化学療法の質を高くしていくと考えられているのである。抗がん治療の進歩によって、がんは「治

る、治らない」という疾患から、「治らずとも長く付き合っていく」慢性疾患へと変化しつつある。がんを抑え、長く生きることが可能となったからこそ、治療を受けながら生活の質、人生の充実度(Quality of life, QOL)をより高く保つことが大切なのである。

がん治療は手術療法や化学療法も、入院治療を中心に行われることが多かったが、患者のQOLを大切にするという考え方にに基づき、できるだけ入院期間を短縮し、安全性を高めた形で外来にて治療を行っていく方法が模索されてきた。化学療法を外来で行うためには、治療中の副作用への対応が病院全体でできる環境

整備や、治療後の様々なセルフケアを患者自身が行いやすいように十分な説明を受けられるような人員配置など課題は多かった。当院では、2006年7月に、専任看護師と薬剤師、担当医師(血液内科)を定め、救急外来などの協力も得て、各診療科の患者が専門性の高い治療を受けられるよう、4床からなる専門外来として外来化学療法室を開設した。

当院は泌尿器科で治療を受けるがん患者が多いことに加え、乳がん患者の増加や大腸がん治療の進歩により外科の患者が増加し、骨転移に対するビスホスホネート製剤治療が普及したこともあって、外来化学療法室での治療ニーズは年々高まっている。

新規の化学療法薬が登場し、がん治療は更に改善されていくと期待されるが、一方で直面するそれぞれの薬剤に特徴的な新しい副作用などにも即応できる体制が求められている。外来化学療法室が、各診療科の包括的かつ良質な治療提供の場として、また治療を受ける患者が、最新の標準化された化学療法を、より安心・安楽に享受できる場となるよう、闘病する方々に寄り添い支えていきたい。

外来化学療法室開設当初より一貫して頑張っている谷口看護師、これを支える豊永看護師、そして連携を取りながら協力を惜しまぬ外科外来、泌尿器科外来、内科外来の看護スタッフおよび薬剤師、各診療科の医師に、末尾ながら深く感謝する。



がん化学療法委員会 委員長  
(血液内科 部長) 上村智彦



# 検査紹介コーナー

## MRI検査は、どんな検査?

### 原理

MRI装置は、中心に体の入るトンネルのあいた大きな磁石とお考え下さい。この大きなトンネルの中に体を入れ、その状態で電磁波を当てて、体の中の様子を画像化(写真)する検査です。体のあらゆる方向の断層写真が得られ、診断に大変役立ちます。また、MRA (MR-Angiography) と呼んでMRI装置を使って、血管の走行などを診断するための写真を得ることもできます。



MRI装置

**検査目的** 検査部位によって検査目的が異なります。

### 1 存在診断

あらゆる方向の断層写真で、病巣の形状・大きさ・位置を容易に把握します。一般撮影では判断しがたい病巣の存在を確認する為の検査です。

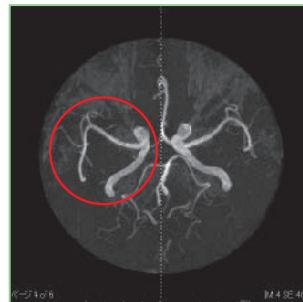
### 2 質的診断

どのような病気なのか(診断)を判断します。造影検査と併用することが多いです。

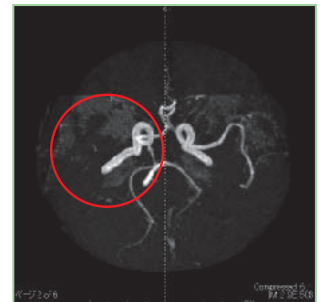
### 3 血管の診断

血管の走行、形状、位置を把握します。

### ■ 頭部血管(MRA)



閉塞なし



右MCA(中大脳動脈)領域の閉塞

**検査時間** 通常頭部で15分、その他の部位で30分前後です。(検査時間は目的や部位によって異なります)

### 検査方法

- 1 撮影寝台に寝ていただきます。(通常仰向け)
- 2 より良い情報を得るために検査部位に**かぶせ物**(受信コイル)をいたします。
- 3 円筒状の穴の中に入り検査を行います。
- 4 検査中大きな音がします。※大きな音ですが、動かないで下さい。  
※撮影部位により息止めをお願いすることがあります。  
※検査によっては静脈から注入する造影剤を用いることがあります。  
気分の悪くなった場合には、すぐに申し出て下さい。

### ■ 腰椎



T2 強調画像



T1 強調画像

### 注意事項

- 以下のような方は検査が出来ない場合もありますので、必ず事前にお知らせ下さい。
  - ・ 心臓ペースメーカー、人工内耳、避妊リングを体内に入れている方
  - ・ 外傷や手術で人工関節や脳動脈クリップなどの金属が体内にある方
  - ・ 妊娠またはその可能性のある方
  - ・ 閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方
  - ・ 造影剤を使用する検査のとき、気管支喘息などのアレルギー疾患のある方
  - ・ 体の広範囲にわたって刺青のある方
- 金属は検査の妨げになりますので、次のものは取り外して下さい。
  - ・ 貴金属: 時計、指輪、ネックレス、イヤリング、ヘアピン、など
  - ・ 眼鏡、補聴器、入れ歯、など
  - ・ 金属の付いている下着: ブラジャー、スリッパ、など
  - ・ 化粧品(マスカラなど)の中には金属を含んでいる物があるため、化粧を落として頂くことがあります。
- 造影MRI検査、または検査内容により食事を控えて頂くことがあります。

### 用語解説

**造影剤:** 目的臓器や血管を染めて、画像で見やすくするためのお薬の事です。

**受信コイル:** 画像情報を多く取り込むため検査部位付近におくものです。

※検査に際してご不明な点がございましたら、御気軽に医療スタッフにお尋ね下さい。

放射線科 科長 阿部健吾





# 香椎原病院だより

## 医療保険適用療養病棟「4病棟」

**4** 病棟は56床の医療保険適用療養病棟です。当院にある病棟としては最上階の4階にあり、四季折々の香椎の風景を一番楽しめる場所でもあります。

当病棟には、主に中長期にわたり入院の必要な患者様がおられます。気管切開を受けた方、口から食事がとれないために胃ろう栄養や中心静脈栄養を受けている方もたくさんおられます。

私たち医療スタッフは、患者様とのコミュニケーションを大切にし、誠実な医療と安心していただけるケアを日々心がけております。



■病棟スタッフとの集団体操の様子

4病棟 看護師長 内田 英子

# 食のヒミツ!



## 砂糖の機能

**甘**味は、人の味覚の中で特に重要な味覚の一つです。砂糖をはじめとする様々な甘味料は、エネルギー源として利用されるだけでなく、脳に安定をもたらす働きがあると言われています。また、様々な料理やスイーツ、嗜好品など、私たちのバラエティに富んだ食事の一端を支えています。『甘い』ということでもやみに摂取を敬遠したり、『美味しい』『好き』ということでも過剰に摂取するのではなく、充実した食生活になるようにうまく取り入れたいものです。

### 砂糖の役割

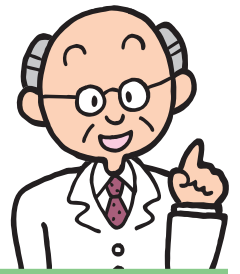
- ① 甘味をつける.....調理一般
- ② エネルギー源.....約4kcal/1g
- ③ でんぷんの老化防止.....羊羹など

- ④ 発酵促進.....パン
- ⑤ ペクチンに作用しゼリー形成.....ジャム
- ⑥ 油脂の酸化防止.....ケーキ、クッキー
- ⑦ 着色・着香作用.....カラメル、照り
- ⑧ たんぱく質の熱凝固を抑制...プリン、卵焼き
- ⑨ 防腐作用.....砂糖漬け、ジャム



栄養科 科長代理 石崎律子

# わが町の ホームドクター 冊



ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。

※ 診療時間は各施設にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

施設名  
医療法人 誠仁会 こもりた 籠田医院

登録医 籠田 仁樹

住所 福岡市博多区西春町1-2-16

電話番号 092 (501) 7535

診療科 外科、胃腸科、内科、肛門科

施設名  
医療法人 真田産婦人科麻酔科クリニック

登録医 平川 万紀子

住所 福岡市東区名島3-6-25

電話番号 092 (681) 0175

診療科 産婦人科、麻酔科

施設名  
山本内科胃腸科クリニック

登録医 山本 勉

住所 福岡市中央区小笹3-11-1

電話番号 092 (522) 5855

診療科 内科、胃腸科

施設名  
めき 貫外科胃腸科医院

登録医 貫 修一郎

住所 糟屋郡須恵町上須恵1212-15

電話番号 092 (933) 5111

診療科 外科、胃腸科、肛門科、整形外科

施設名  
医療法人 井本クリニック

登録医 井本 昭彦

住所 福岡市東区原田1-41-15

電話番号 092 (621) 3455

診療科 外科、整形外科、リハビリテーション科

施設名  
増田内科小児科医院

登録医 増田 登

住所 福岡市東区馬出5-35-17

電話番号 092 (651) 2824

診療科 内科、小児科

※ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度（医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる）の登録医になって頂いている先生です。



## 編集後記

初夏の風が爽やかな季節となりました。

今月号より「職場紹介コーナー」を改め、「THEプロフェッショナル」としてリニューアルいたしました。このコーナーでは、院内の専門部署・がんばっている職員をクローズアップしてご紹介していきたいと思っております。今後も広報誌を通して、皆様により親しんでいただける病院作りに尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、広報誌に関する皆さまのご意見を、1階の公衆電話横をはじめ、各病棟に設置しております「ご意見箱」にお寄せいただければ幸いに存じます。

広報・連携委員会 委員長 原 直彦

# 病院及び関連施設のご案内



## 原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8  
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424  
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>  
 ✉info@harasanshin.or.jp



### ● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

### ● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・外科・血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・睡眠呼吸障害センター・健康管理センター



## 原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011 福岡市博多区中呉服町1-25  
 ☎092-262-2828  
 FAX092-262-2853  
 ✉gofukumachi@harasanshin.or.jp

- 診療時間 水曜日 14:00～17:00
- 診療科目 内科・人工透析

## 原三信泌尿器クリニック



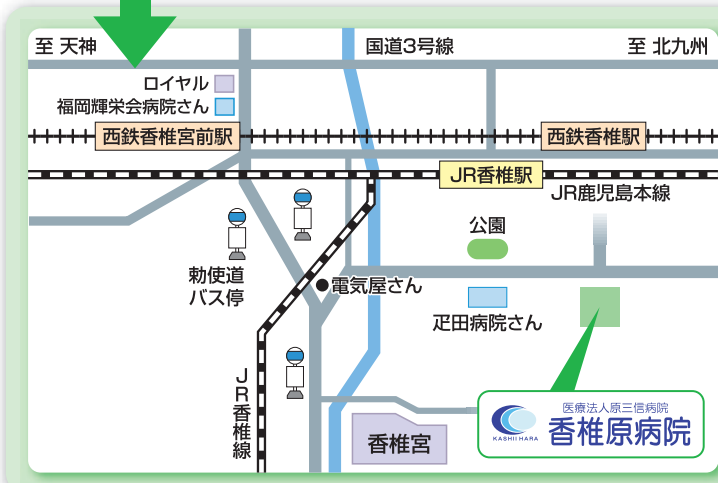
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13  
 双和ビル2F(双和薬局上)  
 ☎092-283-5121  
 FAX092-283-5131

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 泌尿器科

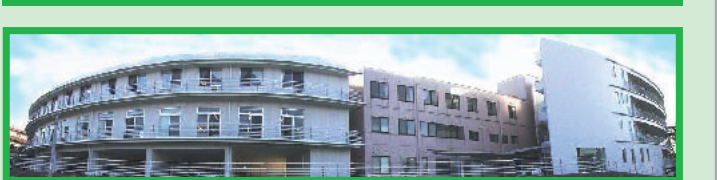
### シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	—	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	—	17:00

運休日: 日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



## 香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1  
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330  
 URL <http://www.kashihara.or.jp/>

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 内科・リハビリテーション科

病院理念 **手の暖かさの伝わる病院**